

第 4 回 学 会 内 容

【記念講演】『当事者学から考える障害者支援』

講師：神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授 稲原 美苗 氏

《 略 歴 》

2007年英国ハル大学大学院哲学研究科博士課程修了。
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属共生のための国際哲学研究センター(UTCP)特任研究員、大阪大学大学院文学研究科助教などを経て、2016年4月より現職。
専門は、ジェンダー・スタディーズ、フェミニズム哲学、現象学、障害の哲学、臨床哲学。
現在は、社会教育実践の一環として哲学を用いながら、哲学カフェを様々な場所で企画・運営している。



《 主な著書 》

- 『Abject Love: Undoing the Boundaries of Physical Disability』
- 『フェミニスト現象学入門—経験から「普通」を問い直す』
- 『Encountering Pain Hearing, seeing, speaking』 他

— 講師からのメッセージ —

本講演では、私の被支援者（そして、被支援者の家族）としての経験について考えてみる。当事者学とは、当事者一人一人の経験を探究することを目的としている学問であり、福祉・医療・教育領域の専門家と当事者をつなげる新しい学問領域でもある。私は現象学を専門とし、障害当事者（マイノリティ）の視点から社会や世界を眺め、居場所の必要性について考察してきた。

私が抱き続けてきた福祉や支援への不信感や不安感を具体的なケースを挙げながら紹介し、支援者と被支援者の枠を超えてより善い支援のあり方について一緒に考えたい。当事者学は、福祉学や作業所学と結びつくことによって、これまで問題視されてこなかった当事者の違和感や「実存」を主題化することのできる学問へと昇華させるだろう。私たち人間がより良く生きていくために必要な支援を探究する力が当事者学にはあると、私は考えている。

【分科会】支援分野別研究

障害当事者の「思い」「働く」「暮らす」について、それぞれ各専門部会より事例発表や報告を通じて課題を提起。参加者の皆さんで意見を出し合い、考えをまとめていただきます。

①意思決定支援 ・ ・ ・ 企画・運営：本人部会

テ　　マ	コロナ禍でも楽しもう ～ところで利用者の本音は？～
課　題　提　起	■ 事例発表 発表事業所:ラポール川原 テラスきらっと グループショップぱれっと ラポールみなみ
進　　行	未定

②就労支援 ・ ・ ・ 企画・運営：就労支援部会

テ　　マ	支援者としての葛藤 ～多様な立場から「はたらくことの支援」を考える～
課　題　提　起	■ 「生活介護事業所ではたらくことの支援をする際の葛藤」 話題提供者:ループ歩 齋藤麻子 氏 ■ 「就労継続支援 A 型事業の意義と、担うべき役割の考察」 話題提供者:お好み焼きこなこな 堀米 美紀 氏
進　　行	ウイズ蜷塚 古橋友則 氏

③地域生活支援 ・ ・ ・ 企画・運営：地域生活支援部会

テ　　マ	入所施設の役割とは ～こんな時代に入所施設の存在を問う～
課　題　提　起	■ 事例報告 報告者:伊豆つくし学園 内田 哲正 氏
進　　行	明日の風ふれあい 内藤 善仁 氏

【全体ディスカッション】テーマ：『作業所としてのトータルな支援とは』

進　　行：(特非) トータルケアセンター 安間 孝明 氏 (研修委員長)

「作業所学会」は学会となっていますが、学ぶ会というよりも実践を通じて体得して来た事を分かち合う会だと思います。記念講演では大いに刺激を受け取り組みへのエネルギーをもらい、分科会では生活する当事者の声や支援にあたる職員の声を聞き、日々の葛藤へのヒントや励ましを得られる会です。

今回の全体ディスカッションは、これまで増田先生に頼り切っていた事を反省し研修委員が進行を担い、先生には総評をお願いしました。

「作業所」は、仕事の支援から地域生活の支援に至るまで幅広い役割を担ってきました。大げさに言えば、一人一人の人生に共に寄り添う役目を果たしてきたと言えます。

この時間では、分科会の報告を交え、皆さんからの意見をいただきながら、「作業所」のあり方を考えていきたいと思っています。

第 4 回 学 会 日 程

時 間	内 容
9 時 30 分	【受 付】
10 時 20 分	【開 会】 主催者挨拶 理事長 三輪 浜子 注意事項説明
10 時 30 分	【記念講演】 『当事者学から考える障害者支援』 講師：神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授 稲原 美苗 氏
12 時 00 分	【昼休憩】
13 時 00 分	【分科会】 支援分野別研究 ①意思決定支援 『コロナ禍でも楽しもう ～ところで利用者の本音は？～』 企画・運営：本人部会 ②就労支援 『支援者としての葛藤 ～多様な立場から「はたらくことの支援」を考える～』 企画・運営：就労支援部会 ③地域生活支援 『入所施設の役割とは ～こんな時代に入所施設の存在を問う～』 企画・運営：地域生活支援部会
14 時 30 分	【休憩】
15 時 00 分	【全体ディスカッション】 『作業所としてのトータルな支援とは』 進行：(特非) トータルケアセンター 安間 孝明 氏 総評：静岡福祉大学 教授 増田 樹郎 氏
16 時 30 分	【講 評】
16 時 45 分	【閉 会】